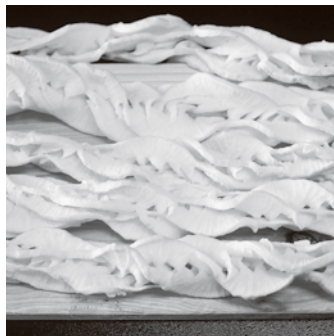


# 「ふさ切り大根の切り方特別講座とキムチづくり講座」が開催されました

11月22日、遊水の郷にて「ふさ切り大根の切り方特別講座と、キムチづくり講座」がおこなわれました。これは「ASOものづくりネットワーク事務局」主催で、「南阿蘇村きらめく地域づくり支援事業」の一環でおこなわれたものです。

「ふさ切り大根」とは南阿蘇村の伝承料理で、冬大根の収穫を迎えると家の軒先に蛇腹状に切って長く伸びた大根が干された光景を見ることができます。ふさ切り大根の切り方講師には吉野ユミ子さん(新所)、キムチづくり講師には遊水の郷の後藤敬喜さん、サツヨさんご夫妻(両併一)。当日は約20人の参加者が講師に教わり、実際に手を動かしながら貴重な体験ができ、楽しい時間を過ごされました。



## 南阿蘇村復興むらづくりだより

復興推進課 TEL(07)11113



### ■復興集落、現地で交流

平成28年熊本大地震で特に被害の大きかった地区で復興むらづくり協議会が設立し、これまで復興に向けた様々な取り組みがおこなわれてきました。計10事業が成立し、今回、各団体の事業を現地で見学することで、それぞれの地区の連携や協力の機会とする交流会を11月28日に開催しました。

交流会は旧長陽西部小学校で開会し、まず4事業について資料による説明がおこなわれました。その後、残りの6事業について袴野地区・長野地区・乙ヶ瀬地区・沢津野地区・立野地区・黒川地区の順に現地を見学。今後の展開や自分たちの地区でも取り入れることができるかななどの意見を出し合いました。昼食では黒川地区の復興弁当と袴野地区の柚子胡椒がコラボした弁当が提供されるなど、他地区との協力の成果も見ることができました。

参加者は他の団



現地説明風景

体の活動に感じるとともに、復興を続けている集落を見て笑顔で交流していました。

### ■繋がる黒川地区と学生との絆

11月12日に、東海大学阿蘇キャンパスで作った農作物の収穫イベントがおこなわれました。この企画は地震前に数鹿流祭でおこなわれていた収穫販売をヒントに、東海大学が県・村および黒川地区の皆さんとの交流継続を目的に実施しました。

学生が一生懸命作った白菜や大根、人參などを、地元の皆さんと学生、先生などが一緒になって収穫し、交流を深めました。熊本地震から4年が経過し当時の学生は卒業していますが、このようなイベントを通して、新たな交流が生まれ、地区と大学との絆は変わることなく継続されています。



収穫イベント集合写真